

松崎中だより

第5号（平成30年6月27日発行）伊丹市立松崎中学校長 升井竜雄

【地震の対応について】

6月18日（月）大阪北部を震源とする地震が発生し、松崎中学校の校舎や体育館では数カ所に亀裂が入りました。現在、応急修理を施しましたが、本格的な修理は夏休みに行うことになります。

地震発生後は、どの学年も速やかに、整然とグラウンドに避難することができ、松中生全員がとても立派な避難行動をとっていました。日頃の訓練の成果が発揮されていて素晴らしかったと思います。以下に、改めて地震の際の対応についてお知らせいたします。



- ①登校前に伊丹市に**震度5弱以上**の地震が発生した場合は、臨時休校とします。**震度4以下**の場合は、通学路の安全に留意して登校させてください。
- ②登校後に地震が発生した場合は、通学路の安全状況や校舎の状況等を判断して、下校させる場合と学校で待機させる場合があります。
※今回は地震による下校について「ミマモルメ」の一斉メールと学校ホームページでお知らせしました。「ミマモルメ」に未登録のご家庭には再度お手紙を配布しましたが、ぜひ登録方よろしくお願いします。学校ホームページにも登録案内を載せています。

【部活動壮行会】

6月22日（金）1学期期末テストが終了し、5校時に部活動壮行会が行われました。各部の主将が**夏季総合体育大会**やコンクールに向けて、全校生の前で、熱い思いを語ってくれました。どの部の主将も、これまでお世話になった家族や顧問の先生、後輩達への**感謝の気持ち**と、**全力を尽くす決意**を力強く表明してくれたことが印象的でした。

3年生はにとっては最後の大会、試合当日は悔いのないよう全力を出し切ってください。1、2年生は3年生の気持ちを考えてしっかりサポートし、3年生の後ろ姿から「盡己」の精神を学び取ってください。



【業務改善・教職員の勤務時間の適正化】

経済協力開発機構（OECD）の調査によると、日本の公立学校の教員の労働時間は他国に比べ最も長く、労働時間のうち授業準備等にあてる時間の割合は最も少なかったことなどが報告されました。

現在、社会的に「働き方改革」も課題となっている中、教員の多忙化とその解消が課題となっております。

本校では、原則として「**ノー部活デー**」「**定時退勤日**」を月曜日に設定しています。ご理解とご協力をお願いいたします。

【地域に貢献する松中生！】

松崎中学校では、昨年度から「地域に貢献する松中生」をめざして、全生徒を「**松中地域ボランティア・サポーター**」に任命しています。

今年度は全員にピンクの「会員証」を配布し、地域ボランティアに参加する毎に、カードの裏にマークすることになっています。

そして年間で3回以上、地域ボランティアに参加した生徒は「**地域ボランティア・リーダー**」に認定し表彰されます。昨年度は1年間でのべ400名の松中生が地域ボランティアに参加し、約80名が「地域ボランティア・リーダー」に認定されました。

夏休みはいろいろな地域行事があります。先日配布した「地域行事一覧表」を参考にして、部活単位でも、友達同士でも、是非、積極的に地域行事に参加してください。**多くの先生方も生徒の皆さんと一緒に、校区の地域ボランティアに参加する予定です。**

なお、参加する場合は担任の先生に「参加申し込み票」を提出し、当日はピンクの「会員証」を持参してください。



【表彰】

・女子バレー 阪神中学校バレーボール男女優勝大会 優勝



【登下校時の不審者について】

最近、登下校時に不審者の事案が報告されています。今週1週間は、教職員が下校時19:40まで通学路で見守り活動を行います。生徒の皆さんは、万一の場合に備え①できる限り集団で登下校すること。②下校時は立ち話などせずに、速やかに帰宅すること。③非常時はすぐに逃げ、近くの大人や警察に助けを求め、学校に連絡するようにしてください。